

科目番号		52107	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	助産フィジカルアセスメント学演習 (Physical Assessment for midwives)								1	
									配当シスター	
									通年	
担当者	○戸津 有美子 他5名			区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 女性の身体は妊娠・出産・産褥期を通して全身的に変化する。その変化が正常範囲なのか異常を予兆するサインなのかを判断する助産診断能力を育成するため、全身のフィジカルイグザミネーションの技術とその得られた情報の解釈について講義と演習を通して学修する。また周産期のみならず、女性のライフサイクルを通じた健康を推進し異常を予防するための基礎的なアセスメントができる全身のフィジカルイグザミネーションの技術を学ぶ。 【目 標】 1. 診断技術の基礎：五感を駆使して、問診、視診、聴診、打診、触診の基本的技術を実践できる。 2. 非妊女性の全身のフィジカルイグザミネーションの技術を実践できる。 3. 周産期の女性の全身のフィジカルイグザミネーションの技術を実践できる。 4. 周産期の女性の全身の包括的アセスメントができ、正常異常の判断ができる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
								7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	ガイダンス フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションに共通する技術 成人女性のフィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション								戸津 他5名	
第2・3回	妊娠期のフィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション									
第4・5回	分娩期のフィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション									
第6・7回	産褥期のフィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション									
第8・9回	分娩進行とモニタリング									
第10・11回	内診法と腔鏡診									
第12・13回	新生児期・乳児期のフィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション									
第14・15回	胸部（乳房）フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーション									
事前・事後学習	事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。技術の自己練習を必ず行うこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。									
評価の方法	事前課題・レポート（60％）、演習参加状況（40％）									
参考図書・資料等	◎助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版 我部山キヨ子・大石時子編 医学書院 ◎プリンシプル産婦人科学2 産科編 第3版 武谷雄二監修 メジカルビュー社 ◎改訂4版 胎児心拍数モニタリング講座: 大事なサインを見逃さない! ・CTG モニタリングテキスト改訂版 馬場一恵・松田義雄 東京医学社 ・診察と手技がみえる Vol.1 第2版 古谷伸之 メディックメディア ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備 考	講義内容の順番については変更の可能性もある。 オフィスアワーについては学生便覧を参照し教員と日程調整をする。 演習時の服装：白衣またはスクラブで参加 フィードバックは適宜行う。									